

第1回信州アディクションセミナー アンケート集計

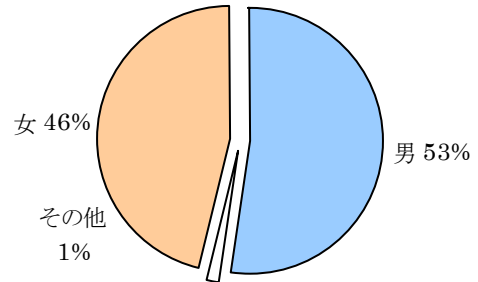
信州アディクションセミナー実行委員会

開催日：2010年9月19日 開催地：松本市Mウィング

参加者数 220 アンケート回収数 71 (回収率 32%)

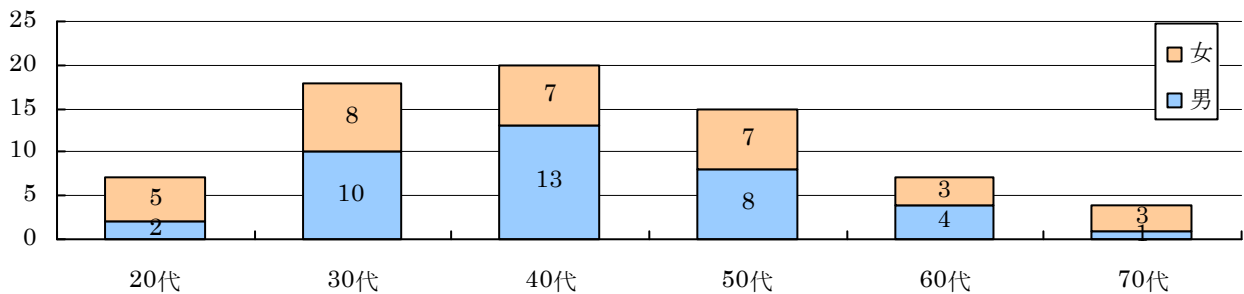
1. 性別

男性	女性	その他
37 (53%)	33 (47%)	1 (1%)



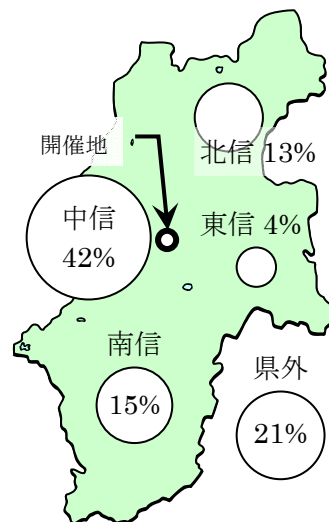
2. 年代

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～
男性	0	2	10	13	8	4	1
女性	0	5	8	7	7	3	3
合計	0 (0%)	7 (10%)	18 (25%)	20 (28%)	15 (21%)	7 (10%)	4 (6%)



3. お住まい

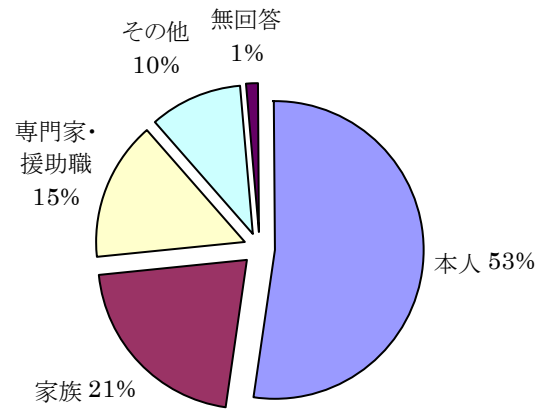
北信地方	9 (13%)
東信地方	3 (4%)
中信地方	30 (42%)
南信地方	11 (15%)
県外	15 (21%)



開催地は松本市（中信地方）右図○。

4. お立場

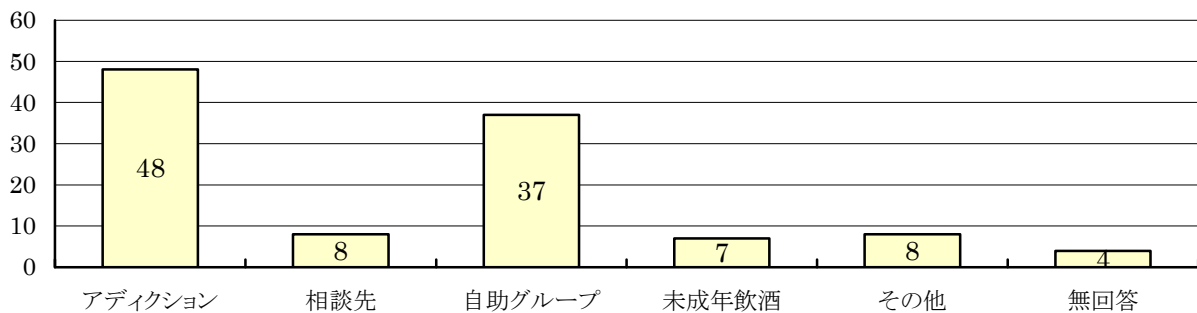
アディクション本人	37 (52%)
家族	15 (21%)
専門家・援助職	11 (15%)
その他	7 (10%)
無回答	1 (1%)



「その他」の内訳は、看護学校、学生、一般市民。

5. どのような情報を求めて参加されましたか（複数回答）

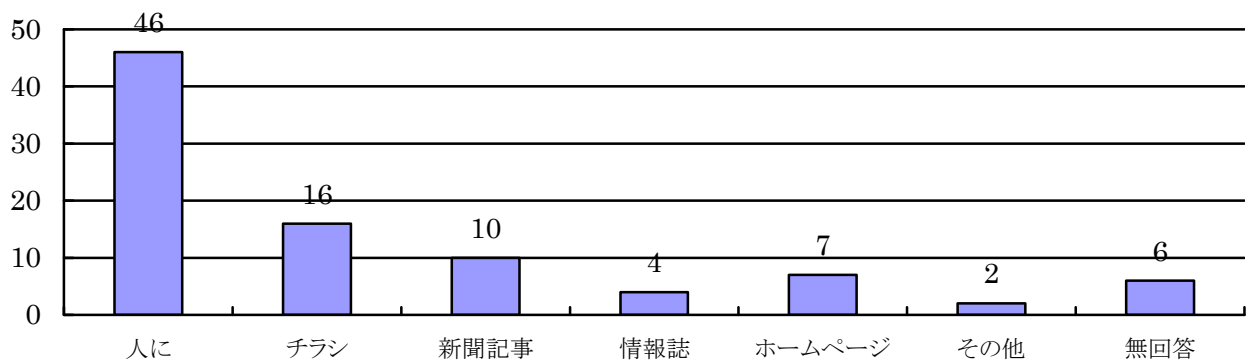
アディクション（依存症）について	48 (58%)
相談するところについて	8 (11%)
自助グループについて	37 (52%)
未成年飲酒について	7 (10%)
その他	8 (11%)
無回答	4 (6%)



6. どちらでお知りになりましたか（複数回答）

- 人に教えられた、誘われた ----- 46 (56%)
 - ・ 医療・相談機関の方 2 (3%)
 - ・ 自助グループ 33 (46%)
 - ・ 家族 2 (3%)
 - ・ 学校関係 3 (4%)
 - ・ その他 6 (8%)
- チラシやポスターを見て ----- 16 (23%)
 - ・ 医療機関 3 (4%)
 - ・ 保健所・福祉事務所 2 (3%)

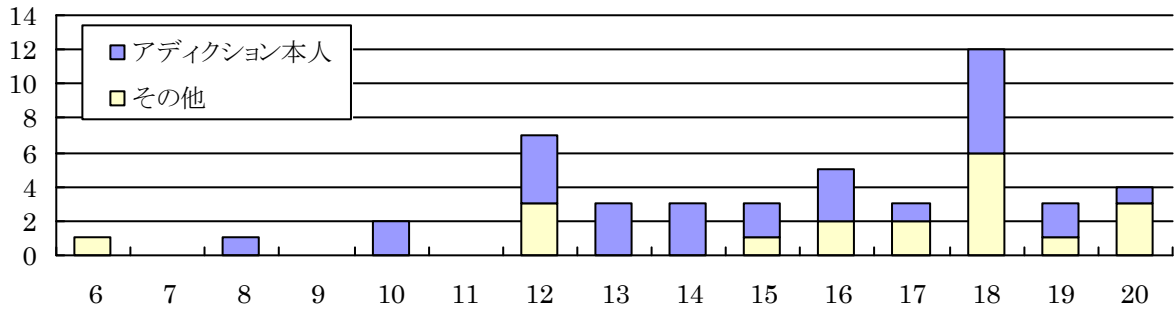
- その他 4 (6%)
(記述) 長野市保健センター・回覧板・M ウィング・自助グループ
断酒会・森田ゆりさんの講演会
- 新聞記事----- 10 (14%)
 - 信濃毎日新聞 9 (13%)
 - 市民タイムス 1 (1%)
 - その他 0 (0%)
- 情報誌・メールマガジン----- 4 (6%)
(記述) ボランティアセンターかわらばん、松本市広報誌×2、職場のメール
- ホームページ----- 7 (10%)
 - 信州アディクションセミナー 5 (7%)
 - その他 2 (3%)
(記述) 未来蝶.net
- その他----- 2 (3%)
(記述) NHK の広報放送
- 無回答----- 6 (8%)



7. 初めてお酒を飲んだのは何才の時ですか？

解答総数 51

年齢 (才)	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
アディクション本人	0	0	1	0	2	0	4	3	3	2	3	1	6	2	1
その他	1	0	0	0	0	0	3	0	0	1	2	2	6	1	3



- アディクション本人について、アディクションの対象は尋ねていないため、アルコール以外の依存症の人が比率は少ないが含まれている。
- 「小学生」という回答は12才として統一して扱った。

平均

アディクション本人	14.9 才
その他	16.3 才

1.4 才の差があった。

8. それはどんな時ですか？（自由記述）

→別紙 1

9. 誰に勧められましたか？（自由記述）

総回答数 51

親・家族	親戚	友人	先輩	同僚	自ら	その他
12 (24%)	2 (4%)	13 (25%)	9 (18%)	3 (6%)	8 (16%)	4 (8%)

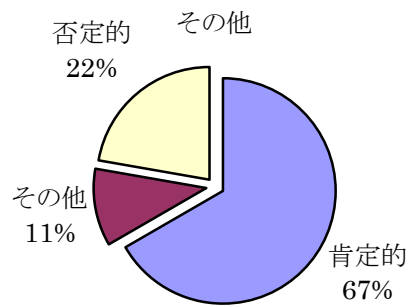
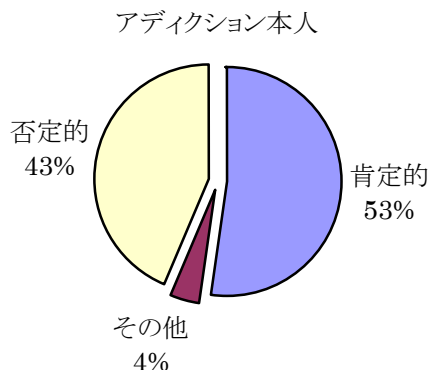
アディクション本人群とその他の群で顕著な違いは見あたらなかった。

10. どんな感じでしたか？（自由記述）

記述を「肯定的」（おいしかった、気持ちよかったなど）と「否定的」（気持ち悪くなった、まずいと思った）および「その他」に分類した。総回答数 41。

	肯定的	否定的	その他
アディクション本人	12 (52%)	10 (43%)	1 (4%)
その他	12 (67%)	4 (22%)	2 (11%)

- アディクション本人について、アディクションの対象は尋ねていないため、アルコール以外の依存症の人が比率は少ないが含まれている。



アディクションの本人は、最初の体験が否定的である比率がその他より高いにも関わらず、その後に飲酒行動を繰り返しているところが特徴的となっている。

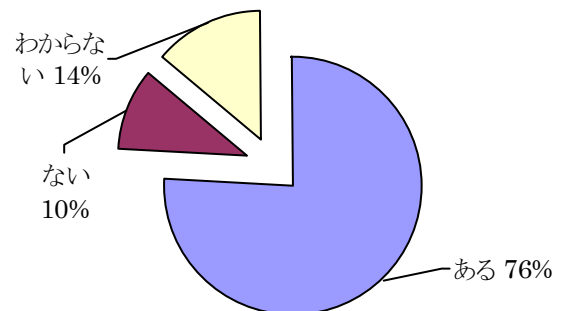
1 1. アルコール依存症と聞くとどんなイメージがありますか？

→別紙 2

1 2. 子どもの時にお酒を飲むこととアルコール依存症と関係があると思いますか？

総回答数 58

ある	ない	わからない
44 (76%)	6 (10%)	8 (14%)



後藤先生の講演を聞いて、「ない」から「ある」へと意見を変えたという記述もあり、講演の効果があがかわれた。

1 3. アディクション（依存症）をなくすためにはどんなことをすれば良いと思いますか？

→別紙 3

1 4. お勧めの医療機関・自助グループ・出版物・ホームページなどありましたら教えてください。

- AA6
- 県立駒ヶ根病院4
- かとうメンタルクリニック2
- 住吉病院2
- ASK (AHC)2
- ビッグブック2

以下各 1

GA 甲府グループ、GA キーストン青山グループ、茅野市酒害者回復クラブ、戸倉断酒会、各地区の断酒会、国立成育医療センター、国立久里浜病院、あいら小児医療センター、再決断療法、ゲシュタルト療法、EA の「パンフレット集 I (緑)」と「Help for Better Life」、ダルク、SUN 共同作業所 (目黒区) (順不同)

15. あなたは自助グループのメンバーですか？

総回答数 57

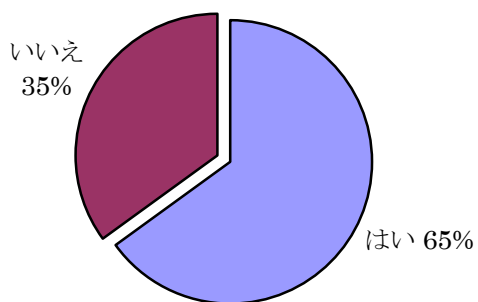
はい	いいえ
37 (65%)	20 (35%)

いいえの方は、今後自助グループに参加したいと思いますか？

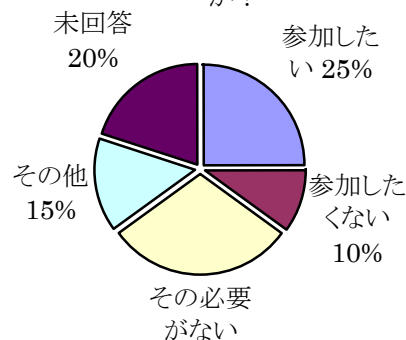
参加したい	参加したくない	その必要がない	その他	無回答
5 (25%)	2 (10%)	6 (30%)	3 (15%)	4 (20%)

参加者の 2/3 はすでに何らかの自助グループのメンバーであったが、まだ参加していない人々にも一定の誘導効果が見られた。

あなたは自助グループのメンバーですか？



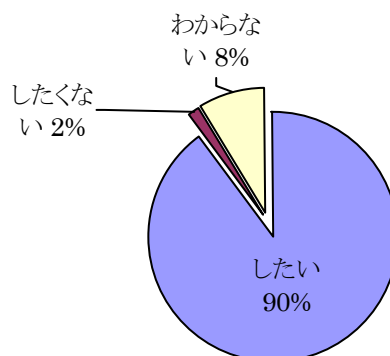
いいえの方は、今後参加したいと思いますか？



16. 1. 来年もこのような催し物があったら参加したいですか？

総回答数 59

したい	したくない	わからない
53 (90%)	1 (2%)	5 (8%)



16. 2. 今後信州アクションセミナーから情報の送付を希望されますか？

総回答数 43

はい	いいえ
33 (77%)	10 (23%)

17. 今日参加されての感想をご自由にお書きください。(自由記述)

本人

- ・ 具体例が多く解りやすかった (60代男性・本人)
- ・ 人が多く集まっていていい感じでした (40代男性・本人)
- ・ 楽しかった (40代男性・本人)
- ・ 初心に戻れました (30代男性・本人)
- ・ 次回も楽しみにしています。とても参考になりました。先生のお話の内容は特に素晴らしかったです (30代・男性本人)
- ・ 後藤先生の話がとても良かったです。OAの仲間の話も聞きたかったです (30代女性、本人)
- ・ とても良いセミナーでした。私はいつも横浜のセミナーに参加しています。今回は駐車場の代金も明記しておいて下さい。(50代男性・本人)
- ・ スタッフの皆さん、お疲れ様でした (40代男性・本人)
- ・ すごく良かったです。次回のサービスにたずさわりたいです (30代男性・本人)
- ・ 久々に自分の心の中のおそうじをした気分です (30代女性・本人)
- ・ 第1回の信州アディクションセミナーに参加できて光栄です (60代男性・本人)
- ・ 参考になりました (60代男性・本人)
- ・ 初めて知りました。私は入院中でしたが、ギャンブル依存症の話が聞きたかったです (60代女性・本人)
- ・ 第2回もやって欲しい (30代男性・本人)
- ・ とても良い時間をいただきました (40代男性・本人)
- ・ 必要なものがあればくらいつきたい (30代男性・本人)
- ・ とても興味を持っています (40代男性・本人)
- ・ 未成年で始めることの恐ろしさがよく分かりました (40代、男性本人)
- ・ 他のグループメンバーとの交流、何かお手伝い出来ることがあればと思い参加しました。後藤先生のお話、体験談等とてもためになりました。特に未成年者のアルコールは危険だとよくわかりました。私も子供がいるので気をつけたいです (40代女性・本人)
- ・ とても素晴らしかった。ぜひ来年も (50代女性・本人)
- ・ AAの仲間の話、本日参加全ての仲間の話、経験は宝物ですね。AA以外のグループの存在を知れたことが大変貴重です (30代女性・本人)
- ・ よかった (60代男性・本人)

家族

- ・ 同じように悩んでいる方がいて参考になりました。皆それぞれ苦しんでいて、一体何がそうさせたのか、その原因(きっかけ)が気になりました。(30代女性・家族)
- ・ メンバーの方に心から感謝です (60代女性・家族)
- ・ 後藤先生のお話が大変良かったです。お話された内容も参考になりましたが、質疑応答時のお話された方も素晴らしかったです (50代女性・家族)
- ・ 基調講演、後藤先生のお話がわかりやすく良かったです (70代女性・家族)

- ・ 依存症についてもっと詳しく勉強して、依存症の人を責めるのではなく、一緒に治療していききたい (20代女性・家族)
- ・ 皆さんしっかり自分に向き合って辛いことも乗り越えて、今まで頑張ってきたことがすごいと思いました。依存症の怖さを改めて知りました。「アルコール依存症」という病気は、世間にしっかり知られてないからもっと知識を深めないといけないと思いました (20代女性・家族)
- ・ 今まで自分の家族の状態を異常で絶対に元に戻せないと思っていたけど、このセミナーに参加し、なんとかなるのではと、なんとかしてみようって思えました (20代男性・家族)
- ・ 昨夜、今朝テレビ NHK 長野放送で本日のセミナーの開催を知らせていたので、公報がすごいなと思いました。後藤先生の講演も良かったが、質疑応答で具体的な話が聞けてとても参考になりました。自治体、福祉センター、協議会の3つが連携していただき、アディクションの自助グループと一緒に取り組まれたセミナーの浸透性があるなと思われました。第2回も期待しています (70代女性・家族)
- ・ 参加して大変良かったと思います。時間の都合で午前のみでしたが…。父がアルコール依存症です。私も母も共依存だと知って、いろいろ勉強しはじめました。実は私も少し、ある依存症かなって思うことがあって、いろいろな情報が欲しくて参加しました。でもまだ自助グループに参加してみようと思う勇気はありません (40代女性、家族)

専門家・援助職

- ・ 勉強になりました。お誘いいただきまして感謝します。IさんやKさんには何度も足を運んで頂いて、ありがとうございました。セミナー開催、おめでとうございます。お疲れ様でした。また次回、期待しています。(30代女性・援助職)
- ・ 大変お疲れ様でした (30代男性・援助職)
- ・ とても参考になった (50代男性・援助職)
- ・ とてもよかった。次回も来たいと思います。今度は看護学生を連れてきます (50代男性・援助職)
- ・ 医療関係のものです。こういったアディクションの全体の会を開いていただきとても勉強になりました。これからも続けていっていただきたいと思います (50代女性・援助職)
- ・ 後藤先生の講演資料(パワーポイント)を配布頂けるともっと良かったと思います。講演会・体験談ともに大変勉強になりました。ありがとうございました (50代女性・援助職)
- ・ 未成年者飲酒禁止の理由がよく分かりました(大人になってどうなるか) (30代女性・援助職)
- ・ 看護職です。このような活動の実態を知りたいと思い参加しました。このような積極的な活動をしていらっしゃるって驚きです。専門の分野は異なりますが頑張ってください (60代女性・援助職)
- ・ 臨床経験、SHGの方々と関わることの多い後藤先生なので、たくさんの事例を出していただいて、わかりやすい楽しい講演でした (40代女性・援助職)
- ・ 勉強になった (20代女性・援助職)

その他

- ・ 依存症の怖さと希望 (50代女性・教育職)
- ・ やはり当事者の話は面白い (40代男性・その他)
- ・ 基調講演が良かったので、今後も開催する場合、専門家を呼んで話を聞く時間を設けて欲しいと思

いました (30代女性・その他)

- ・ 依存症について学んでみたかった。一般人が学べる場がもっとあればいいと思う。精神的に弱い人間だからと思いますが、本人が一番苦しんでいると思う (70代女性・その他)
- ・ 講演内容がとてもわかりやすく、穏やかな声で良かったです。自分の身近な言葉に変えて説明してくれているのがとても良かったです。後藤先生ってとてもかわいらしいなあ~という印象を持ちました。なんだかうれしかったです。体験談を話して下さった皆さんありがとうございます。話せるようになっただけで、今までとは変わりました。自分の人生を生きるようになっていきますね。おめでとう。ありがとうございます。(40代女性・その他)

以上

別紙1：初めて飲酒したときの状況（カッコ内は飲酒時の年齢）

本人

家庭内（12歳、女性）／サークルの飲み会（18歳）／高校時代のコンパにて（16歳、男性）／正月（12歳、男性）／家族の団らんの時（15歳、男性）／入学（12歳、男性）／ツマミにつられて（10歳、男性）／夕食の時（17歳、男性）／部活の飲み会（18歳、女性）／お盆（16歳、男性）／お正月（18歳、男性）／祭り（8歳、男性）／お祭り（12歳、男性）／職場の同僚と（19歳、男性）／お正月（13歳、男性）／結婚式（18才、男性）／友人の集まり（18才、男性）／家族全員でキャンプに出かけたとき（16才、男性）／夏祭りで誘われて（13才、男性）／友だちと遊んで打ち上げ会（14才、男性）／養護施設で（14才、男性）／隠れて興味本位で（10才、男性）／学生コンパなど（20才、男性）／特になし（13才、男性）／大学の飲み会（19才、女性）／友人の家に泊まったとき（14才、女性）／会社の歓迎会（18才、男性）

家族

飲み会（20歳、女性）／友人（20歳、女性）／クリスマス（19歳、女性）／夜両親とも共働きで淋しくて飲んだ（18歳、女性）／お正月（6歳、女性）／仕事の飲み会（18歳、男性）／お正月、高校時代の文化祭の打ち上げなど（16才、女性）／お正月（女性）

専門家・援助職

友人とのクリスマスパーティー（18歳、女性）／正月（12歳、男性）／忘年会（18歳、男性）／梅酒（小学生、男性）／学校（18歳、女性）／友達とお酒を飲んでみたくて（17歳、女性）／高校のイベント打ち上げ（17歳、女性）

その他

／家？覚えていない（20歳、女性）／学生寮に入ったとき（18歳、男性）／高校のクラブのコンパ（15歳、男性）／歓迎会（16歳、男性）／お正月や梅酒が美味しくなった頃（小学生、女性）

別紙2：アルコール依存症と聞くとどんなイメージがありますか

本人

一般的には、隠しておきたい（20代女性）／だらしのないアル中。意志が弱い。気が小さい。自己中心的。（60代男性）／アル中（50代男性）／無茶苦茶であり、でたらめ（50代男性）／社会的落ちこぼれ（40代男性）／ダメな人（30代男性）／ホームレス→今は病気（30代男性）／ダメな人間（30代女性）／暗いイメージ（30代男性）／ドヤ街（60代男性）／人間失格者（60代男性）／夜昼酒ばかり飲んでいる人（50代男性）／飲まないといられない状態（60代女性）／浮浪者だった（30代男性）／くらい感じ（40代男性）／病気（40代男性）／アルコールを飲むことから自分の意志だけでは離れられなくなった人（30代男性）／手が震える。やけ酒、悔し涙、ハイテンション（30代男性）／ネガティブ。関わりたくないイメージ（30代男性）／ありません（40代男性）／アル中より病気っぽく（精神疾患らしく）（40代、男性）／宿無し、金が無い人（40代、男性）／手が震える人（40代、男性）／優先順位が一番がお酒（40代女性）／病気（50代女性）

家族

人格が変わる（30代女性）／父親（50代女性）／365日一日中酒に溺れている（70代女性）／怖い（20代女性）／家族がバラバラになる。こわい（20代女性）／やさぐれた感じ。怒りっぽい。赤い顔（40代女性）／父がそうだったので悲しくなります（今は回復途中ですが、不安はあります）（40代女性）／一日中365日酔っぱらっている（20代男性）

専門家・援助職

時間がかかる（30代女性）／物質依存の一つ（30代男性）／美味しそう（40代女性）／孤立、不幸（50代女性）／お酒で生きている（30代女性）／苦しい人（40代女性）／家族、職場でも対応に困る（20代女性）

その他

家族へのダメージ、崩壊（50代女性）／お酒がやめられない（20代男性）／おもしろい人たち（40代男性）／暴力的なイメージ（30代女性）／全面的にコントロールができなくなる。気の毒に思う（70代女性）／成人の暴力、職場に行けない、子供への影響大、家庭不和（40代女性）

別紙3：アディクション（依存症）をなくすためにはどんなことをすれば良いと思いますか？

本人

世間に正しい知識を広め、リスクや怖さ影響を子どもに伝える（20代女性）／自分自身の自覚が大切ですが、家族の協力と自助グループへの参加により回復の為のヒントを得ることと、早く気づくことが大切だと思います（60代男性）／家族のとの関係回復（50代男性）／広報活動をもっとする（40代男性）／ミーティング（30代男性）／新たな生き方を探す。その為に、自助グループ。同じ仲間。そして12ステップ（30代男性）／一人にならない。話せる仲間を作る（30代女性）／ミーティングと12ステップ（40代男性）／アディクションは良くなる。認めることが大切だと思う（30代男性）／もっとマスコミが取り上げる（60代男性）／わからない（60代男性）／自分的に自覚を持つこと（50代男性）／自助グループと12ステップ（30代男性）／正しい知識を持つ（40代男性）／広報（40代男性）／アディクション以外の何か特別なことに生きる楽しみを見出すこと（30代男性）／自助グループの参加。好きなものを見つける（30代男性）／アルコールの休日を作る（40代男性）／心のすき間に入りこまれないように気をつける（40代男性）／自助グループで仲間と回復する（40代男性）／病気であり、回復できる病気であることを伝える（40代男性）／アルコールの場合、大量飲酒を継続すると将来どんな社会的に関係的に害毒があるか、もっと強く警告する（70代男性）／こういった交流を増やして社会の理解を深める（40代女性）／支え合う会、アディクションへの偏見のない社会を作っていくこと（50代女性）／不可能？ 社会、周りの大人の子供への関心（30代女性）

家族

回りの人に気づいてもらって協力し合う（30代女性）／基本の家庭生活の心の豊かさ（60代女性）／精神科医の診断、医師とのコミュニケーション。自助グループに通うこと（70代女性）／もっと楽しいことを増やす（20代女性）／違うことに気を向ける（20代女性）／親や兄弟がきっかけとなることがあった時に、正面から向き合って正しい道に引き戻す。きっかけを見過ごさない（20代男性）／後藤先生もおっしゃっていたように、いろいろなものに興味を持って、それだけに頼らないこと。多くの人とコミュニケーションをとるなどだと思います（40代女性）

専門家・援助職

地道な活動、PR（30代女性）／様々なレベルでの受け皿の確保（30代男性）／青少年への教育（50代男性）／まずは正しい知識（50代男性）／教育（40代女性）／（お酒を飲まない人との）人と人の関わりが大切。他に目を向ける（30代女性）／酒害についての教育（40代女性）／そのものから遠ざかって生活。あると絶対手を出してしまう（20代女性）

その他

人を頼る（50代女性）／一般の方も含む社会全体に知ってもらうこと、啓蒙（20代男性）／子どもの頃のトラウマを癒す（40代男性）／家庭、学校などにアディクションの正しい知識を持ってもらう（30代女性）／大変難しいと思いますが、自分で気づくのが大切と思う（70代女性）／自助グループ、カウンセリングがあたりまえにどこにでもあって、参加すること。支援できること。社会の認識。本人の気づき。学校での教育（40代女性）